

令和6年度 農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)のうち地域資源活用価値創出推進事業(農泊推進型)及び地域資源活用価値創出整備事業(農泊推進型)

事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和6年度に実施された「農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)のうち地域資源活用価値創出推進事業(農泊推進型)及び地域資源活用価値創出整備事業(農泊推進型)」の事業について、「農山漁村振興交付金農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)」別記4の第9の2の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和6年度に交付金事業を実施した北陸農政局管内の16地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。

その結果、優良と認められる地区が7地区、良好と認められる地区が3地区、総合的に低調と認められる地区が6地区との評価結果となった。

総合的に低調と認められる地区に対しては、重点的な指導、助言等を行う。

また、今年度の評価対象ではないが昨年度に重点指導の対象となっていた4地区について、重点指導の結果を評価した。その結果、来年度も引き続き重点的な指導、助言等を行う地区は3地区であった。

3. 各地区の評価結果

16件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
北陸	新潟県	佐渡市	佐渡地区農山漁村体験推進協議会	●	● ▼ ▲	● ■ ▼ ▲	▼ ▲	▼ ▲				B	本地域では、「佐渡金山」の世界文化遺産登録を機にインバウンドを含めた旅行客の増加が予想され、農泊地域として地域づくりに取組むこととしていたが、教育旅行での民泊体験については、学校のニーズの変化、アレルギーや子供の体調への対応の困難さや事務局の人員削減のため令和6年度で受入を終了した。しかし、インバウンドや少人数向け体験コンテンツの需要があることから、新たに農泊の構成員を募り、一般社団法人佐渡観光交流機構の中に「農泊・グリーンツーリズム部会」を設立し、体制の立て直しを図り、売上高及び延べ宿泊者数とも目標を達成したため、良好と評価する。

農政局等	都道府県	市 町 村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
北陸	富山県	富山市	山田地域都市農村交流協議会	● ▼ ▲	●	● ■ ▼ ▲	▼ ▲	▼ ▲	△			C	地域の温泉旅館「ふれあいの里ささみね」とコテージ「木MAMA」はスキー客の減少にコロナ禍が追い打ちをかけ閉館となり、宿泊施設がない状況となっていたが、新たに古民家を改修した宿泊施設「雪つばき」等で宿泊者の受入れを始め延べ宿泊者数は増加している。また、協議会メンバーの地域おこし協力隊が年間を通じた具体的な農業体験の計画を企画するなど新たな取り組みが行われているものの、売上高及び宿泊数とも目標に達していないため、低調と評価する。
北陸	石川県	七尾市	(ソフト事業) 矢田町スローツーリズム推進協議会 (ハード事業) 株式会社じろざみ			● ★	● ■ ▼ ▲	◆ ▼ ▲	△			C	能登半島地震の影響で施設の一部が破損し、災害ボランティア（施設を活動拠点として提供）と協力し約1年かけて施設の復旧作業を行ったが、令和6年度内に宿泊事業が再開できなかったため目標は未達となったことから、低調と評価する。
北陸	石川県	七尾市	崎山半島渚泊推進協議会			●	● ■ ▼ ▲	▼ ▲	△			C	インバウンド向けに提供する体験プログラム、食事、宿泊施設は、モニターツアーによって点検、磨き上げを行い、概ね受入れ体制が構築されている。特に和船の乗船、定置網体験等の特徴を持った取組を行っていたところであるが、能登半島地震によって当地域の住居やインフラ、体験施設、宿泊施設にも大きな被害を受けている。復興ツアーの要望もあることから復興と並行し、渚泊に取り組んでいるが、売上高及び宿泊者数とも実績に結びついていないため、低調と評価する。
北陸	新潟県	新潟市	(ソフト事業) 秋葉区まちづくり協議会 (ハード事業) 株式会社パッチワークAKIHA				● ★ ▼ ▲	● ■ ★ ▼ ▲	◆			A	前年度は、宿泊施設の開業が4カ月遅れたことにより宿泊者数が目標を下回り、低調と評価されたが、令和6年度は、宿泊先として、秋葉区だけでなく、新潟市内他区の観光客の需要を取り込んだ。また、お試し移住ツアーを開催し、秋葉区への移住を考えている者が一時的な拠点として利用したこともあり、宿泊者数が大きく伸び、飲食も新メニューや新たなアプローチなど、積極的に磨き続け、新規客の確保に努め、広報活動にも力を入れHPアクセス数が漸増している。これらのことから、優良と評価する。

農政局等	都道府県	市 町 村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
北陸	富山県	南砺市	(ソフト事業) 城端地区活性化協議会 (ハード事業) 株式会社水と匠				● ★	● ■ ★ ▼ ▲	◆			A	前年度は、宿泊施設の運営人材の採用に苦慮したこと、宿泊施設の本格開業が3月中旬まで大幅に遅れたことで、売上高及び宿泊者数目標を達成することができなかったが、令和6年度は、インバウンドが好む体験型のプログラムやイベントを企画し、宿泊プランと組み合わせて提供したことにより、宿泊者のインバウンド比率が32%となった。延べ宿泊者数は目標に達しなかったものの、宿泊単価が上昇し売上高が目標を達成した。実施体制も地域と連携し安定していることから、優良と評価する。
北陸	新潟県	十日町市	(ソフト事業) Mizusawa Rice Terrace Conference (水沢棚田協議会) (ハード事業) HOME HOME NIIGATA					● ★	● ■ ★ △	◇		C	前年度は、宿泊客だけでなく地域住民も利用し互いに交流できる農家民宿を新たに運営するため、地域住民へ説明、他事業者、住民と連携を図りながら事業を推進し、良好と評価された。令和6年度は、主要な取組としていたコンテンツ磨き上げワークショップが、2月以降の大雪の影響により、計画通り実施できなかった。また、整備事業が大雪などの影響で開業が3カ月遅れたことにより売上高及び延べ宿泊者数が目標を下回ったため、低調と評価する。
北陸	福井県	福井市	越前里山里海協議会					●	● ■			B	地域の資源を活用した魅力作りに取り組み、コンテンツの磨きあげを行うとともに、宿泊接遇のスキルアップのための座学を開催するなどし、体験学習した学生やその家族のリポート、学校の団体旅行のリポートにつながり売上高及び延べ宿泊者数の目標をおおむね達成していることから、良好と評価する。
北陸	富山県	魚津市	魚津市農泊推進協議会					● ▼ ▲	● ■			A	前年度は、能登半島地震で地域に大きな被害があり、漁港や漁業者の被害対応や機能回復を優先したことにより低調と評価された。令和6年度は、能登半島地震の影響が残るものの、ワーケーション利用が増加し、利用客がコロナ期の年間400人前後から倍増し、計画のとおり取組を実施し、目標を達成したことから、優良と判定する。

農政局等	都道府県	市 町 村	事 業 実 施 主 体 名	事業実施段階								評 価	評 価 コ メ ン ト
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
北陸	新潟県	新潟市	秋葉区まちづくり協議会						●	○ □		A	過年度に実施した農泊推進事業で課題となっていたインバウンドの集客、飲食店との連携、宿泊に結び付く体験プログラムを改善するため、ホームページやパンフレットの多言語対応、飲食のメニュー開発、ワークショップの開催などが計画された。一部、外的要因のため計画のとおり実行できない取組はあったものの、おおむね実施されていることから、優良と評価する。
北陸	新潟県	佐渡市	佐渡農漁体験創発協議会						● △	○ □		C	体験コンテンツの磨きあげや情報発信、食事メニューの開発などの取組については計画のとおり実施し、更に、構成員となる農家の拡大に向け、声掛けや説明活動に取り組み、売上高及び延べ宿泊者数の目標を上回ったことは、評価できる。しかし、主要な取組である研修生人材の雇用や育成指導等に至っていないことから、低調と評価する。
北陸	新潟県	長岡市	寺泊広域まちづくり協議会						●	○ □		A	過年度に実施した農泊推進事業で課題となっていたインバウンド向けの情報発信については、インバウンド旅行者向けのWebサイトを開設した。また、国内富裕層向けにInstagram旅メディア「オトナ旅」への投稿を行うとともに、翻訳機「ポケットーク」の導入によりインバウンド対応の品質向上を図るなど主要な取組がおおむね計画のとおり実施されており、売上高等の目標も達成していることから、優良と評価する。
北陸	富山県	南砺市	城端地区活性化協議会						●	○ □		A	過年度に実施した農泊推進事業でインバウンドへの対応不足が浮き彫りとなったことを受けて体制を整備したほか、主要な取組であるホームページ・パンフレットの多言語対応、街の象徴だった大杉を活用したアクティビティの実施実験が計画のとおり実施され、売上高や延べ宿泊者数等の目標のうち半数以上は達成していることから、優良と評価する。

農政局等	都道府県	市 町 村	事 業 実 施 主 体 名	事業実施段階								評 価	評 価 コ メ ン ト
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
北陸	富山県	射水市	(ソフト事業) アルベルゴディフーズ新湊を拓く協議会 (ハード事業) 一般社団法人アルベルゴディフーズ新湊を拓く会						● ★ △	○ □ ☆	◇	C	まちづくり運営研修の実施、SNSを活用した動画の配信などの取組は計画のとおり実施したものの、主要な取組の一つ観光漁業が不漁のため計画のとおり実施できなかった。また、宿泊施設の改修が3月末まで遅れたことから売上高及び延べ宿泊者数が目標値を大きく下回ったため、低調と評価する。
北陸	石川県	志賀町	(ソフト事業) くまの地域づくり協議会 (ハード事業) 一般社団法人のとくまの						● ★	○ □ ☆	◇	B	地域の関係者間で対話を重ね、農泊の受け入れ体制を強化するため専門家からの指導を受けて実施体制の強化に努めている。インバウンドを意識した体験の磨き上げにも努めているが、一部の取組が計画のとおり実施できなかったが目標値はおおむね達成していることから、良好と評価する。
北陸	石川県	白山市	(ハード事業) 株式会社YOSITAI (白峰林泊推進協議会)						★	☆	◇	A	地域内での農泊に対する理解醸成を進め実施体制の強化を図るほか、金沢大学や金沢工業大学、文化団体と連携し、教育観光・文化観光の推進による地域の新たな魅力の創造に努めるなど、地域全体の発展に寄与する取組を実施したことから優良と評価する。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)
ハード対策 ☆…交付対象年度(計画) ★…交付対象年度(実施済) ◇…目標年度(計画) ◆…目標年度(実施済)
重点指導 ▼…重点指導(通知) △…重点指導(結果報告予定) ▲…重点指導(結果報告)

(注2)「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調 評価対象外…評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金（地域資源活用価値創出対策）実施要領（令和４年４月１日付け３農振第2921号農林水産省農村振興局長通知）別記４の第９の３の規定に基づき、第三者機関である「北陸農政局農山漁村振興交付金（都市農村交流等）評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長：桑原 美香（福井県立大学経済学部教授）
委 員：大西 等（株式会社農協観光北陸エリアセンター北陸エリア長福井エリア長）
松本 正（株式会社北日本新聞社 編集局 統合編集センター 専門委員）

【令和7年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会	
1	日 時：令和7年7月28日（月） 14:00 ～ 16:30
2	場 所：金沢広坂合同庁舎 7階第1会議室（オンライン形式による開催）
3	議事概要
①	令和6年度評価対象地区の評価方法について 本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。
②	令和6年度評価対象地区の評価及び取組状況について 令和6年度に事業を実施した16地区の取組概要、評価案及び評価が低調と認められる地区に対する重点指導案について説明し、質疑応答を行った。 また、昨年度に重点指導対象となっていた7地区の重点指導結果に関して説明し、質疑応答を行った。
③	令和6年度評価対象地区の評価案等について 令和6年度に事業を実施した16地区の評価案等に関して、了承を得た。

④ 主な意見

コロナ禍がようやく収まったと思ったところに震災が襲い、北陸の農林水産業はほとんどの団体が生産や販売、集客に苦労されていることと察します。どんな産業の企業・団体でも同様ですが、ほかの団体に負けない自身の強み「コア・コンピタンス」を確立することが、苦境を乗り越える際に特に重要であると思っています。そのためには団体内のメンバーで議論を交わし、まずは自らの強みについて自覚すること、そしてそれを磨く方策を練り上げることが肝要と思われます。今回低調と評価された団体は、実績を積み上げた他団体の取り組みを調べ参考にしてもらいたいと思います。

C評価の地区について、天候不順やハード整備の遅れによるものであったり、能登半島地震を遠因とするものであったりすることから、事業者の責めに帰るものではないと考えられ評価が難しい。加えて、事業評価書に詳細な実施内容が記されていないものもあり、分かりにくい評価書があった。やむを得ない事情は理解できるが、事業の未達は本当にそれだけが原因であるのか現状が具体的に記されていないと判断できない。